

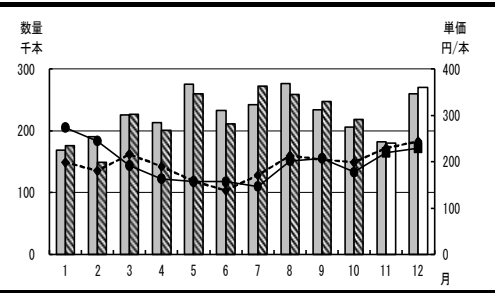
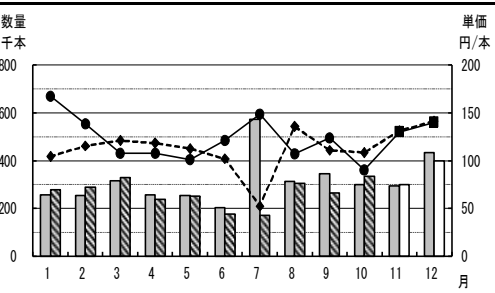
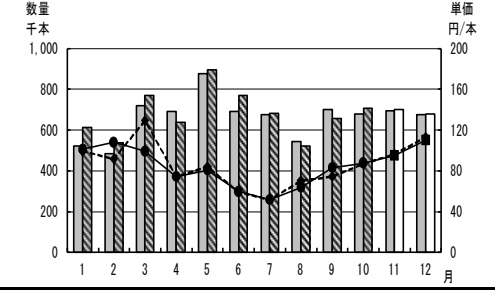
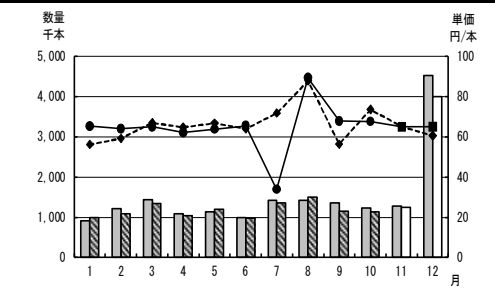
切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 11月30日現在）

単位：千本、円／本

品目	区		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
輪 ぎ	実績	2020年	1, 6 4 8	5 5	<div>数量 千本</div> <div>本年数量</div> <div>単価 円/本</div> <div>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 月</div> <div>— 昨年数量 — 数量 — 単価 - - - 昨年単価</div>
		2021年	2, 1 9 8	6 0	
		2022年	2, 0 3 8	6 7	
		2023年	1, 8 3 6	7 1	
		2024年	1, 9 8 2	6 8	
	五か年平均	1, 9 4 0	6 4		
	2025年見通し	2, 0 0 0	6 5		
概要	愛知、沖縄、三重からの入荷。上旬は入荷量が少ない見込み。中旬以降は年末需要に向けて入荷量も増え、引き合いも強まる。				
小 ぎ	実績	2020年	1, 7 2 6	3 1	<div>数量 千本</div> <div>単価 円/本</div> <div>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 月</div>
		2021年	1, 9 5 8	3 2	
		2022年	1, 6 3 8	3 8	
		2023年	1, 9 5 8	3 2	
		2024年	1, 5 0 1	4 0	
	五か年平均	1, 7 5 6	3 4		
	2025年見通し	1, 6 0 0	4 0		
概要	沖縄中心に入荷。上旬は入荷量少なめで推移、中旬からは年末需要に向けて入荷量も伸びてくる。ピークは19日～24日販売となる見込み。				
カー ネー シ ョ ン	実績	2020年	9 7 6	3 5	<div>数量 千本</div> <div>単価 円/本</div> <div>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 月</div>
		2021年	1, 3 1 7	4 8	
		2022年	1, 1 3 1	5 0	
		2023年	1, 1 7 5	5 0	
		2024年	1, 2 3 2	5 6	
	五か年平均	1, 1 6 6	4 9		
	2025年見通し	1, 2 0 0	5 5		
概要	愛知、輸入中心に入荷。国産は10月頭より秋の寒さにあたっているなので、昨年に比べて品質は良い見込み。大きな出荷の山もなく、月別の差があまりない出荷の見込み。輸入物は昨年並の出荷見込み。				
か す み そ う	実績	2020年	1 3 1	7 0	<div>数量 千本</div> <div>単価 円/本</div> <div>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 月</div>
		2021年	1 9 1	9 2	
		2022年	1 6 8	9 4	
		2023年	1 6 6	1 1 0	
		2024年	1 2 8	1 3 8	
	五か年平均	1 5 7	1 0 0		
	2025年見通し	1 5 0	1 1 0		
概要	和歌山、高知、熊本からの入荷。定植後の気温高により短径開花となっており、11月は少なめに推移したが、12月中旬頃には多くなっていく見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	分				
ゆり	実績	2020年	2 2 9	1 8 9	
		2021年	3 0 8	2 2 6	
		2022年	2 8 0	2 3 3	
		2023年	2 9 5	2 3 0	
		2024年	2 6 0	2 4 4	
	五か年平均		2 7 4	2 2 6	
	2025年見通し		2 7 0	2 3 0	
概要	高知、宮崎、埼玉、新潟からの入荷。オリエンタルは前進気味であったが、下旬から気温が下がり、生育が抑制されている。年末需要期より早めにピークを迎える可能性がある。				
洋らん	実績	2020年	3 0 1	1 0 6	
		2021年	4 2 2	1 4 4	
		2022年	3 5 9	1 4 9	
		2023年	3 9 5	1 5 0	
		2024年	4 3 3	1 4 1	
	五か年平均		3 8 2	1 3 9	
	2025年見通し		4 0 0	1 4 0	
概要	高知、鹿児島、静岡、愛知の国産、輸入品が入荷。カトレアは遅れ気味の出荷見込み。コチョウランは株の弱りから数量は伸び悩み、輸入は予対中心に入荷となる。デンファレは前半は昨年並、後半は注文等が多く、セリ売り分は減少する見込み。オンシジウムは船便のため、通関等の遅延がなければ、大幅な減少ない。シンビジウムは徳島産中心の入荷となるが、若干の遅れが見受けられる。				
ばら	実績	2020年	4 9 7	8 7	
		2021年	6 7 4	1 0 8	
		2022年	6 0 7	1 0 7	
		2023年	7 5 9	8 9	
		2024年	6 7 5	1 1 3	
	五か年平均		6 4 2	1 0 1	
	2025年見通し		6 8 0	1 1 0	
概要	愛知、岐阜、三重、輸入が入荷。昨年に比べて秋の寒気がしっかりあたったため、品質は良い見込み。品種により山谷はあるものの順調な入荷を予定している。				
枝もの	実績	2020年	3, 8 7 3	5 7	
		2021年	2, 7 8 9	8 5	
		2022年	3, 7 8 3	7 2	
		2023年	3, 9 2 4	7 0	
		2024年	4, 5 3 1	6 1	
	五か年平均		3, 7 8 0	6 8	
	2025年見通し		4, 0 0 0	6 5	
概要	茨城、兵庫、愛媛、和歌山、静岡及び長野から年末商材が入荷する。年末用の水仙は20日頃から40-45cm中心で出荷を予定しており、千葉県産は年末需要に間に合わない可能性がある。舞姫ボケは順調な出荷。あかねは年末から出荷となる予定だが、数量は少なめ。ケイオウ桜は山形産中心。雪柳等も年末向けに20日過ぎから出荷を予定している。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	2020年	10,076	1,098	
		2021年	11,044	1,186	
		2022年	9,280	1,422	
		2023年	9,216	1,195	
		2024年	9,879	1,283	
	5カ年平均		9,899	1,233	
	2025年見通し		9,700	1,150	
概要	入荷量と価格は前年を下回る見込み。輸入原木の高騰が、生産量の大幅な減少の主因と考えられる。8号以上の入荷が大きく減少すると思われるが、最近では種苗会社からの苗の販売が開始され、6号以下の生産・出荷量は増える可能性が見込まれる。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（70.3%）、2位鹿児島（12.3%）、3位福岡（5.0%）となっている。				
シヤコバサボテン	実績	2020年	8,436	469	
		2021年	10,193	485	
		2022年	6,991	472	
		2023年	10,208	508	
		2024年	10,403	486	
	5カ年平均		9,246	485	
	2025年見通し		9,500	485	
概要	入荷量は前年を下回る見込み。生産量減少に伴い、出荷は5号中心で、6号と4号も若干ある見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（65.8%）、2位愛知（34.2%）となっている。				
シクラメン	実績	2020年	427,062	448	
		2021年	422,530	459	
		2022年	489,355	392	
		2023年	464,176	403	
		2024年	417,108	443	
	5カ年平均		444,046	427	
	2025年見通し		400,000	450	
概要	入荷量は6号が減少する見込み。5号は11月のスタートが遅れていたため、ずれ込んだ物が多く、前年に近い入荷の見込み。 ガーデンシクラメンは前倒し気味の出荷となる見込みで、出荷量は減少する可能性がある。5号の関東物は3入@1,200、地元を含む4入@1,000～800クラスは引き合いが強い見込み。その下は、量販店の売れ行きで左右する可能性がある。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（27.8%）、2位群馬（20.1%）、3位岐阜（10.7%）となっている。				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	2020年	83,647	2,267	
		2021年	71,306	2,420	
		2022年	78,898	2,394	
		2023年	60,015	2,481	
		2024年	59,210	2,459	
		5ヵ年平均	70,615	2,430	
	概要	2025年見通し 59,000 2,458			
	入荷量は生産量の落ち込みにより、前年より減少する見込み。各生産者が開花を12月に合わせている為、生産量に対しての入荷は12月に高い比率となる。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（55.2%）、2位高知（9.3%）、3位徳島（8.4%）となっている。				
カラシコエ	実績	2020年	17,762	244	
		2021年	18,759	252	
		2022年	15,234	234	
		2023年	12,798	292	
		2024年	12,026	345	
		5ヵ年平均	15,316	268	
	概要	2025年見通し 12,000 342			
	入荷量は前年並の見込み。高温障害は、前年ほどはなく例年並の入荷見込み。4号鉢を中心に中値安定で推移すると思われる。20日以降は年末年始売りの需要が見込まれ、4～6号の商品と各サイズの八重咲き種中心に品薄になる見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（33.5%）、2位岐阜（31.2%）、3位茨城（11.9%）となっている。				
パンジー	実績	2020年	413,893	40	
		2021年	394,867	50	
		2022年	382,297	42	
		2023年	345,688	63	
		2024年	321,112	85	
		5ヵ年平均	371,571	54	
	概要	2025年見通し 310,000 87			
	入荷量は前年より多少減少する見込み。年々の作付け面積の減少や急激な冷え込みなどの影響により、開花待ちや11月への需要前倒しが見られ、全体的に出荷が前倒しになってきている。天候が安定していれば価格も平年並を見込む。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（25.1%）、2位奈良（14.9%）、3位高知（13.1%）となっている。				